

第6回小児AMR (薬剤耐性) 対策セミナー

9日
土

小児AMR(薬剤耐性)対策セミナーとは

日本小児感染症学会、AMR 臨床リファレンスセンターとの共催で行う、感染症対策の講習会です。今回で本学会の年次集会としては6回目の開催になります。

今回の年次集会では・・・

9月9日(午前)は講演会形式で、9月9日(午後)はワークショップとして開催します。午前は予約は不要ですが、**午後のワークショップに参加希望の方は予約(定員制です)をお願いします。** [P12→](#)

薬剤耐性(AMR)菌の拡大は世界的な問題です。これまでの開催で小児領域におけるAMR対策を推進していくためには、小児診療に関わる全ての診療科、看護師、薬剤師、市民、行政を巻き込んだ、地域一丸となった取り組みが重要であるということがわかりました。第5回は現地会場とWeb配信のハイブリッド開催により、AMR対策に係る様々なテーマに関して活発なディスカッションを行うことができました。第6回も引き続き外来小児科学会における現地開催を目指しており、小児診療に関わる全ての職種に加え、次世代の小児医療を担う医療系学生も対象とした講義・事例紹介と少人数でのグループワークを計画しています。特に今回は小児診療に携わる小児科以外の診療科の考えを知り、AMR対策のためにいかに連携していくかを焦点としたテーマを扱います。



「こどもどこ」とは

10日
日

2005年に日本外来小児科学会年次集会で結成された、将来小児医療に携わりたい医学生を中心としたネットワークです。現在は教育検討会の医学生・若手医師支援委員会所属で活動し、小児科領域をテーマにしたセミナーを実施しています。

今回の年次集会では・・・

こどもどこセミナー 「未来をみた男の話」

日本のPICUのパイオニア、植田育也先生(埼玉県立小児医療センター)を講師に迎え、植田先生のキャリアの道筋を辿りながら、先生が医師人生の岐路に立たれた際に直面されたキークエスチョンを提示します。参加者は「自分だったらどうするか…?」を考え、参加者同士で意見交換を行います(グループワーク)。植田先生のキャリアを時系列で仮想的に追体験する事により、参加者の皆さん自身の今後のキャリア形成の参考にして頂くことを目的としています。

セミナーの対象は、
医学生、初期研修医(30名)で、予約制です。

[予約サイト](#)

